

＼ウェブサイトからも学生の声をご覧ください／



「早稲田大学応援基金」ウェブサイト



「早稲田大学応援基金」へのご支援や学生インタビューの様子は左記二次元バーコードから

公式SNS

「早稲田大学を応援しよう!」

X (旧Twitter)

<https://x.com/wasedaouenkikin>
@wasedaouenkikin



WASEDA University

早稲田大学 総長室社会連携課

TEL 03-3202-8049 FAX 03-5286-9801 E-mail kifu-ml@list.waseda.jp

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 <https://kifu.waseda.jp/>

2025年 4月 発行

学生が輝く 早稲田の未来へ!

早稲田大学応援基金

ご支援のお願い

2025



学生が輝く
早稲田の未来へ!



皆さまのご支援が 早稲田の未来を創ります

早稲田大学応援基金は、「世界で輝くWASEDA」の実現に向け、早稲田大学を財政的に支援し、将来の学生がより素晴らしい人間に成長できる教育を提供することを願って、作られました。

本学では「研究の早稲田」「教育の早稲田」「貢献の早稲田」を基本理念に据え、すべての学生がグローバルな視野を持ち、地域社会に、そして自分の国に、さらには国際社会に貢献できる人材になるよう、教育研究の改革を進めてきました。早稲田大学応援基金は、これらの取り組みを加速させ、本学を応援いただく全ての皆さまの想いを次世代へとつなぎ、教育研究活動のさらなる充実と世界に貢献する学生の育成を目指すための大きな柱となります。

皆さまのご支援は、本基金を運用するための原資として大切に保全し、その運用益を大学が行う教育研究の重点事業に幅広く活用させていただきます。未来を切り拓く早大生が世界で輝けるよう、早稲田大学応援基金へのご支援をお願い申し上げます。

早稲田大学 総長
田中愛治



世界に貢献する学生を育成するために 「早稲田大学応援基金」を通じたご支援をお願いいたします。

世界レベルの優秀な
若手研究者を育成する環境

研究 の早稲田

体系的な教育の提供
教育基盤の整備

教育 の早稲田

グローバルリーダーを
育成するプログラム

貢献 の早稲田

「早稲田大学応援基金」とは

教育研究活動のさらなる充実と世界に貢献する学生の育成を目的とした募金です。皆さまからのご支援は基金として積み立て、その運用益を世界に貢献する学生の育成を目的とした教育研究事業のため長期的に幅広く活用させていただきます。



基金の原資は取り崩さず、運用益のみを元手に支援事業を行うため、皆さまからの寄付金が永続的に早稲田大学のために活用されます。
※基金を維持しつつ、大学基金の特性を活かした長期的投資運用（エンダウメント運用）を行います。

「早稲田大学応援基金」寄付実績のご報告

*対象期間 2022年4月1日～2025年2月20日

総寄付金額 **2,476,592,318円**

件数 **28,373件**

これまで賜りました皆さまのあたたかいご支援に厚く御礼申し上げます。
引き続き皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

「文理横断／融合教育」への支援

本学では、「アカデミック・ライティング」「数学的思考」「データ科学」など、あらゆる学問の基礎を学べる全学基盤教育を用意しています。また、研究面においても、人文社会系と理工系が連携した研究を進めています。学部・研究科の枠を超えた教育研究を推し進めるべく、「文理横断／融合教育」に対する幅広い支援を行っています。

学術的文章の作成から思考力を鍛える

アカデミック・ライティング **4,836**名履修

文理問わず求められるICT能力を養成する

情報 **11,980**名履修

数学を通して論理的な思考力を養う

数 学 **6,665**名履修

早稲田大学独自のプログラムで発信力を鍛える

英 語 **13,739**名履修

あらゆる学びの礎となる 早稲田大学の基盤教育

※2023年度実績

データ科学を修得し、自身の専攻分野で活かす

データ科学 **16,655**名履修

早稲田大学 応援基金の 支援実績

学びを止めないための奨学支援

本学では、首都圏以外の地方出身者を対象とした「めざせ! 都の西北奨学金」や、児童養護施設等の出身者を対象とした「紺碧の空奨学金」など、独自の給付型奨学金を数多く用意しています。本学の学生が、誰一人として不本意にも修学をあきらめることのないよう、学びを止めないための奨学支援を続けていきます。

早稲田大学独自の奨学金

約150種の学内奨学金

早稲田大学が独自に設置している学内奨学金は、おおよそ**150種類**。そのすべてが**返済不要**の給付奨学金で、学外奨学金（日本学生支援機構や民間団体等）との併用が可能となっています。

給付奨学金の内訳

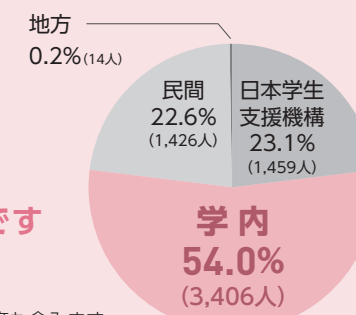
**6,305人の学生が
給付奨学金を受けています**
そのうち 54.0%の

3,406人は学内奨学金です

※2023年度 奨学金採用実績

※災害等による学費減免は除いています。

※日本学生支援機構は留学に関する奨学金制度も含みます。



INTERVIEW

初級から実践まで体系的な学びで、 分析力と論理的思考力を養う

1年次の必修科目「データリテラシー」においてデータを科学的に読み解く面白さを知り、全学基盤教育として大学が提供している「データ科学入門」の初級から中級を履修しました。2年次ではより実践的な「データ科学実践」を修得。目的に応じた分析手法の選択、結果にもとづく仮説立案や検証など、分析を体系的に進める筋道を学びました。学部のゼミでは「どのような新聞記事が内閣支持率に影響するか」をテーマに卒論を執筆していますが、多様な記事を分類し、カテゴリーごとの影響を把握できるなど、培った分析力が大いに役立っています。また、目標に向けて必要な情報や手順を考える論理的思考力も身につきました。こうした力を活かし、将来はデータ活用の促進により企業の課題解決や価値創造をサポートするIT企業などで活躍できることを目指しています。

人間科学部 4年
宮城県仙台第二高校出身

ふるしま ゆかり
古嶋 優香里さん

INTERVIEW

紺碧の空奨学金

恵まれた環境で学べる幸せに感謝し、 他者を支えることの大切さを実感

日本や世界の歴史・文化を広く、深く学びたいとの想いから早稲田大学への進学を志しました。しかし、社会的養護が必要な立場にあり、経済的な負担の大きい私立大学への進学は諦めざるを得ない状況でした。そのような中、「紺碧の空奨学金」はまさに一筋の光となりました。この1年間、早稲田大学で学ぶなかで視野が大きく広がり、アイヌ民族といったマイノリティの問題について深く考える機会にも恵まれました。大学外では、社会的養護を必要とする進学希望者を支援するボランティア活動に参加し、他者を支えることの大切さを実感しています。このような恵まれた環境で学び続けられる幸せを日々感じ、改めてご支援くださる皆さまへの感謝の気持ちが高まりました。私もまた、誰かの背中を押せる存在になれるよう、努力していきたいと思っています。

文学部 1年

埼玉県熊谷女子高等学校出身

まつもと まな
松本 真奈さん



「全員留学」を目指す支援

建学以来、グローバルリーダーとして世界に貢献する人材の育成を掲げてきた本学では、すべての学生が在学中に一度は海外留学を経験する「全員留学」を実現することを目指しています。多様な留学ニーズに応えることのできる体制の整備、経済的な負担を軽減するための支援など、「全員留学」を実現するための支援を行っています。



早稲田大学 支援 実績



最先端の教育を学生に提供する 優れた教員の確保

世界に貢献する学生を育成するためには、最先端の教育を学生に提供することが求められます。本学では、国際公募による教員の選考や、テニユア・トラック制度^(※)による若手教員の採用などを通して、世界トップクラスの優れた教員の確保に取り組んでいます。

(※) 任期中の実績を審査し、適格であれば任期の定めのない教員(テニユア)として雇用する制度

日本一の国際化拠点大学として

早稲田から世界へ
年間約**3,500人**の
学生が学びの場を
世界に

※2023年度実績

国内随一の海外協定大学
**91の国や地域に広がる
800以上の大学・機関との
ネットワーク**

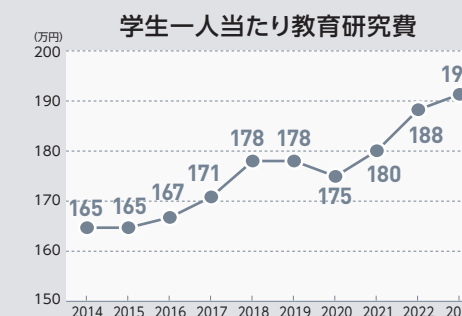
※2025年2月現在

多彩な留学プログラムとサポート体制

大学間協定による交換留学(EX)、留学先の大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するCustomized Study Programs(CS)、ダブルディグリープログラム(DD)、夏季・春季等の短期留学プログラムなど多彩なニーズに応える留学プログラムを用意しています。また、留学に関する奨学金や相談窓口の設置、留学準備講座の開講など、充実したサポート体制を整えています。

質の高い教育環境の提供

早稲田大学では、2023年度の教育研究費として**962億円**を計上しており、学生一人当たりで**191万円**となります。この金額は授業料を大きく上回る支出額であり、**質の高い教育の提供**に取り組んでいます。



学生だけでなく教員の国際化にも力をいれており、国際公募も加速させています。

海外での
博士号
取得教員数

※2023年度

18.2%

※常勤教員・研究員1,792人のうち327人

国際教養学部 3年
大阪明星高校出身

すなだ けんたろう
砂田 健太郎さん



INTERVIEW

学生交流奨学金 留学先: ニュージーランド ヴィクトリア大学ウェリントン

留学で得たかけがえのない財産 「温故知新」の学びを活かして

大学で国際関係学や人間的力学を学ぶ中で、ニュージーランドの先住民マオリの権利問題に関心を持ち、留学を決意。現地ではマオリ語や文化を学びながらハカのコミュニティにも参加し、精神性や価値観を知ることができました。その経験を活かし日本国大使館でマオリ語を紹介。特に印象的だったのは、マオリの王の逝去に伴い、議会での喪中スピーチを見学したことです。伝統と政治が交わり、歴史が今に生きる瞬間を目の当たりにしました。さらに現地企業や政府機関を訪問し、政策やビジネスの実態に触れ、また多様な背景を持つ人々との交流から異なる価値観を理解することの重要性を学びました。これもひとえに学生交流奨学金の支援のおかげです。今後は、日本とニュージーランドの土地政策や経済の課題に向き合い、国際社会に貢献できるよう努めたいと思います。

INTERVIEW

研究と国際学会での発表・交流で得られた 知識と経験を活かして社会に貢献

私たちの生活に身近なテーマである「音響」を通じて人々の生活に貢献する研究をしたいと考え、大学院に進学しました。現在、音響信号処理の研究を行っており、コンピューターが雑踏の中でも人の声を聞き分けられるようになることを目指して研究に励んでいます。また、各研究室の教員による専門的な講義や、英語で行われるゼミ、全学基盤教育として大学が提供しているデータ科学の受講などを通して、さまざまな分野への興味や学びを深めています。大学院では国際学会での研究成果発表も経験しました。世界中の専門家に向けて研究成果を伝えることは想像以上に難しく、大変でしたが、この経験を通じて研究や国際交流の楽しさと難しさを学ぶことができました。修了後も、研究生活を含む早稲田大学での様々な経験を活かし、社会に貢献できるよう励んでまいります。

大学院情報生産システム研究科 修士2年
明治学園高等学校出身

きむら りの
木村 凜乃さん



ご支援者の声



Message 01

早稲田大学を卒業してから約20年、常を感じるのは社会の変化の速さであり、視野を広げ続けることがとても大切です。自分と違う多種多様な考え方に触れることがとても重要で、学生達にはぜひたくさんの経験を得て視野を広げ続けて欲しいと強く願います。早稲田大学応援基金を通じて学生達の人生の学びを後押しし、社会が求める魅力的な人材を育む一助となることで、早稲田の先輩諸氏への恩返しにもなればと心から願っています。

2006年 社会科学部卒業



Message 02

平凡な地方高校生だった私は、いつか世界へ繋がれると、早稲田での学生生活を夢見ていました。大学では、あらゆる価値観を享受しつつ自らの目標に真摯に向き合う仲間たちに出会い、刺激を受け、自ら道を切り拓き生きることの正しさを学びました。卒業後は、国内外の刺激的な出会いを糧に自らの道を開拓。ビジネスの世界で生きていられることに感謝しています。微力ながら、現役学生の役に立つことで早稲田に恩返しができると思います。

1996年 商学部卒業



Message 03

恥ずかしながら、私の大学生活は褒められたものではなく、海外留学など考えたこともありませんでした。しかし、就職後の海外出張で語学力のなさを実感。海外文化を知らなくて大変恥ずかしい思いをしたこともあり、在学中に世界を知る機会を逃したことを後悔しました。だから、学生の皆さんには、世界を自分の目で見える機会を持ってほしいのです。気持ちばかりの支援ではありますが、学生の皆さんの今後の飛躍につながれば幸いです。

2014年 教育学部卒業



募集概要

募集目的	学生育成に資する教育研究事業の恒常的な支援	募集対象	趣旨にご賛同いただける個人、団体(校友会・稲門会等)、法人等の皆さま	募集金額	1口1万円 ※1万円未満のご寄付につきましても有り難くお受けいたします。
-------------	-----------------------	-------------	------------------------------------	-------------	--------------------------------------

特典 ご支援をいただいた方には金額に応じて各種特典をご用意しております。

顕彰 高額のご寄付を賜りました方にはご寄付の累計金額に応じて「名誉称号」を贈呈しております。

個人

年度内累計3万円以上のご寄付をいただいた個人さま

特典証

※年度限り(翌年3月末まで)

1 早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)内のカフェ「橙子猫—Orange Cat—」ドリンクチケット

2 オリジナルグッズ(手帳)

3 早稲田スポーツ(野球・ラグビー等)・交響楽団演奏会ペアチケット(抽選)

4 「ホームカミングデー」へのご招待

5 早稲田大学中央図書館の利用

6 大隈記念タワー16階「校友サロン」の利用

7 「Uni.Shop125」の優待利用

8 「リーガロイヤルホテル東京」の優待利用

9 「早稲田大学エクステンションセンターオープンカレッジ」入会金割引

10 「早稲田大学歴史館 Museum Shop」の優待利用

全寄付者対象

大学に関する最新情報をお届けする

メールマガジンの配信(希望者のみ)

※年度内(4月1日～翌年3月31日)に3万円以上のご寄付をいただいた個人さまが対象となります。特典の有効期間は金融機関から本学へ入金された寄付金の累計が3万円に達した日から当該年度末までです(I除く)。
 ※1のドリンクチケットは、チケット内記載の有効期間がご利用可能期間となります。
 ※2のオリジナルグッズは、2026年版の手帳を2025年10月以降に発送予定です。
 ※3のチケットプレゼントは、メールにてご案内しますので、寄付ウェブサイト内お問い合わせ(メールアドレス変更)よりメールアドレスをご連絡ください。

個人

高額寄付者への名誉称号の贈呈

称号の名称	維持員	栄誉賛助員	光輝賛助員	名誉賛助員	稲志賛助員	賛助員
対象となる ご寄付の累計金額	1億円以上	5千万円以上	2千万円以上	1千万円以上	5百万円以上	2百万円以上

銘板へのご芳名の刻印

名誉賛助員以上の方におかれましては、本学早稲田キャンパス2号館(會津八一記念博物館)に設置している寄付者銘板にご芳名を刻印し、未永く顕彰させていただきます。

特別イベントへのご招待

左記の個人さま向け特典に加えて、式典(入学式・卒業式等)や「エグゼクティブ・フォーラム」へのご招待、学内刊行物の贈呈等を行っております。

※対象となるご寄付は、「早稲田大学応援基金」をはじめとする早稲田大学へのご寄付の累計金額です。ただし、研究室への指定寄付等、対象外となるご寄付もありますので、詳細につきましては社会連携課までお問い合わせください。

個人・団体・法人

ご芳名の掲載

寄付者芳名録(WEB)

ご希望により匿名にすることも可能です

ご寄付の方法

POINT

24時間365日受付！



1 インターネットを通じた簡単・便利な寄付

クレジットカードおよびインターネットバンキング（ペイジー）、コンビニ決済、PayPay、携帯電話キャリア決済、Amazon Payをご利用いただけます。
パソコン・スマートフォンからアクセスし、場所や時間を問わず簡単にお申し込みいただくことが可能です。

Q 早稲田大学応援基金 検索

スマートフォンからは
右の二次元バーコードよりアクセスしてください▶

1 「寄付はこちら」
ボタンをクリック。

2 次に「下記の条件に同意し
「寄付を申し込む」」
ボタンをクリック。

3 申込者様の情報を入力し、
画面の指示に従って
お申し込みください。

スマートフォンの画面イメージ

パソコンの画面イメージ

2 振込用紙による寄付

銀行・郵便局でのお振込み

金融機関専用振込用紙に必要事項をご記入のうえお振込みください。
下記の金融機関は振込手数料が**原則無料**です。詳細は振込用紙をご確認ください。

POINT

特定の金融機関なら
振込手数料が**無料**！

- 三菱UFJ銀行
- りそな銀行
- 三井住友銀行
- みずほ銀行
- ゆうちょ銀行

コンビニエンスストアでのお振込み

コンビニエンスストア専用振込用紙をお持ちの上、最寄りのコンビニエンスストアでお振込みください。
領収書の発行はご入金いただいてから**1～2か月後**となりますので、**予めご了承ください**。

※「寄付者芳名録（WEB）」へのご芳名の掲載を希望されない場合は、社会連携課までご連絡ください。
※コンビニエンスストア専用振込用紙は、インターネットから再発行のお申込が可能です。



右の二次元バーコードよりお申し込みフォームにアクセスいただきお申し込みください。
なお、団体さま・法人さまは、銀行振込のみ可能です。



税制上の優遇措置に関するご案内



本学へのご寄付は、確定申告を行うことで、
所得税の還付および住民税の控除を受けることができます。

寄付者 東京都西東京市在住のWさんの場合

早稲田大学

ご寄付 30,000円

確定申告

POINT 早稲田大学は文部科学省より
寄付金控除の対象となる証明を
受けています。

所得税の還付 ▶ $(30,000円 - 2,000円) \times 40\% = 11,200円^{※1}$
個人住民税の控除^{※2} ▶ $(30,000円 - 2,000円) \times (4\% + 6\%)^{※3} = 2,800円^{※4}$

※1：税額控除制度を選択した場合 ※2：個人住民税の控除の有無は自治体によって異なります
※3：寄付金の住民税控除率は自治体によって異なります ※4：ご寄付された年の翌年度の住民税から控除されます

合計約**14,000円**の節税に！
(最大約**40～50%**の減税効果)

控除額は年間の所得金額や
寄付金額等によって異なります。

詳しくは
寄付ウェブサイトをご覧ください



法人さまからのご寄付につきましては、
寄付金額を当該事業年度の損金に算入することができます。

下記の2通りの種類があり、お申し込みの際にどちらかをお選びいただけます。

- 特定寄付金（寄付金を一定の限度額まで損金に算入できる）
- 受配者指定寄付金（寄付金の全額を損金に算入できる）



詳しくは
◀寄付ウェブサイトをご覧ください

POINT

少額でも有難くお受けいたします

久遠の理想を未来に託す ――

“遺贈”“相続財産による寄付”を通じて早稲田大学へのご支援が可能です

「教育を通じて社会に貢献する後輩たちを支援したい」
「引き継いだ財産から、故人の遺志を表して母校支援をしたい」
ご自身の遺産の一部または全部を寄付する「遺贈」により、早稲田大学を
支援し、皆さまの想いを未来を担う学生のために託すことが可能です。また、
故人様の生前の想いを実現するため、相続財産からご寄付いただくという
方法もございます。
皆さまの想いを受け継ぎ、大切な財産を「学生が輝く早稲田の未来」のた
めに活用させていただくべく、ぜひお気軽にご相談ください。

●ご支援先について
「早稲田大学応援基金」の他、奨学金・出身学部や
体育各部・課外活動等、ご意向に沿った支援先を
指定することが可能です。

詳しくは
寄付ウェブサイトをご覧ください

